

1. 学校の教育目標

「わが学園は教育を通して『努力心』『誠実心』『独立心』を養い、平和社会の建設に貢献する人材を育成することを使命とする」  
この本学園の建学の精神のもと、「日本で、また母国で堂々と働くことのできる人材、社会にとって有用な人材を育成する」ことを教育目標として掲げ、その実現に努力している。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ・TB校及びNN校の募集、運営状況の把握し協力体制を構築する。
- ・本部と各校との三位一体での運営
- ・キャリアサポートに関し、学生を受け持つ学校及び担任を主幹とし本部と連携
- ・人事異動による組織力強化
- ・目標とする人物像に向けての教育
  - 個々の学生の進路実現
  - 入口から出口までの流れの充実・向上
- ・2024年10月期で次年度定員の充足達成
- ・学生の就職見込と進学見込の維持（進路見込）
  - 就職見込率70%以上
  - 進学コースの進学見込率90%以上

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

委員の評価

**A**

評価項目

- ・学校の理念・目的・育成人材像を定めているか
- ・育成人材像に合わせ、学科ごとに特色ある教育活動に取り組んでいるか
- ・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか
- ・学園の建学の精神、教育テーマが教職員に浸透しているか
- ・学校の理念・目的・育成人材像を学生・保護者に向けて発信しているか
- ・学科の教育目標、育成人材像は、関連する業界ニーズに適合しているか

①課題

- ・学生の学力差が広がっている
- ・IT業界ニーズが目まぐるしく変化する中、適し続ける

②今後の改善方策

- ・社会情勢を常に意識し、ニーズの変化に素早く対応する
- ・社会が常に変わることを意識しながら、求める人材像を育てる体制を整えていく
- ・別指導や補習プログラムの充実、学習支援の強化

③特記事項

・留学生も増える中、ブロードキャスト的な授業はできるだけ避け、プロジェクト学習など問題発見、ディベート、問題解決案など学生にも考える時間を多く与えたい

(2) 学校運営

委員の評価

**B**

評価項目
・理念（建学の精神）等に沿った運営方針を定めているか
・理念（建学の精神）等に沿った事業計画を定めているか
・学生数（あるいは受け入れる学生の言語数）に応じた組織体制になっているか
・規程やマニュアルが整備され、組織運営が適切に行われているか
・人事、給与に関する規程等を整備しているか
・指示命令系統が明確であり、意思決定システムが機能しているか
・固定資産、備品等の購入、管理が制度に基づき適切に行われているか
・シラバス等、教育活動等に関する情報公開を適切に行っているか
・情報システム化等により業務の効率化を図っているか

①課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な背景を持つ生徒への適切な支援が不足</li> <li>・新設校であるため、マニュアル整備が不十分</li> <li>・必要な教員確保のための採用活動の見直し</li> </ul>
--

②今後の改善方策

<ul style="list-style-type: none"> <li>・インクルーシブ教育の推進や文化理解の教育の強化</li> <li>・スケジュールリングやマニュアル等随時作成していく</li> <li>・採用方法の多様化、外部エージェントなどの活用検討</li> </ul>
--

③特記事項

<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業生の専門士称号付与承認</li> <li>・企業連携により法人契約による教員採用</li> </ul>
---

(3) 教育活動

	委員の評価	B
評価項目		
・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等を定めているか		
・修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか		
・教育目的・目標に沿ったカリキュラム編成になっており、目標達成に必要な学修時間を確保しているか		
・教育目標に合致した教材が選定されているか		
・教育内容、教育方法について教員間で共通理解が得られているか		
・開示したシラバスに沿って授業を展開しているか		
・授業報告、出席状況を正確に記録し、見直すことができる体制を整えているか		
・キャリア教育を実施しているか		
・教育システムの見直しを定期的にかけており、改善行動がなされているか		
・インターンシップ、実技実習等に関する定めがあり、体系的に実施しているか		
・授業アンケートを実施し、評価・フィードバックを行っているか		
・成績評価・単位認定の基準を定めているか		
・進級要件、卒業要件を明確に定めているか		
・目標とする資格（免許）を、カリキュラムの中で明確に位置付けているか		
・資格（免許）取得の指導体制が整っているか		

- ・資格・要件を満たした教員を確保しているか
- ・教員の能力開発、指導力育成、資質向上のための取組み（研修等）を行っているか

①課題

- ・教員個々の能力開発、指導力の育成
- ・教員不足や離職率の上昇
- ・個々の教員のスキルアップのための研修等の充実

②今後の改善方策

- ・学園研修の内容（メニュー）の充実化
- ・教員の働き方改革や職場環境の改善

③特記事項

- ・カウンセリングサービスの充実やメンタルヘルス教育の実施検討
- ・学園全体、また部門による全体研修を毎年、年に2回実施している

(4) 学修成果

委員の評価

**A**

評価項目

- ・学生の自己評価（PA等）を実施しているか ※PA・・・パフォーマンスアセスメント
- ・卒業後の進路を把握しているか
- ・進路達成（就職率・進学率）の向上が図られているか
- ・検定合格、資格取得、免許取得の状況を把握しているか
- ・資格・免許取得率の向上が図られているか
- ・（成果発表を含め）学習成果を学外に対して示しているか
- ・評価判定基準及び判定方法を学生に開示しているか
- ・進級・卒業判定のための会議を設けているか
- ・卒業生のキャリア形成、社会的な活躍や評価を把握しているか

①課題

- ・自己管理能力 自己学習の計画立案、時間管理、目標設定のスキル
- ・在学中の資格免許取得の目標値を明確にする

②今後の改善方策

- ・学習計画を立てて実行する能力の向上
- ・卒業後の状況を逐次把握する体制を整える
- ・学生の校友会への理解の促進を図り、卒業後も学校と、また卒業生同士が繋がる体制を構築する

③特記事項

- ・スキルの向上 問題解決能力、コミュニケーション能力、批判的思考能力など
- ・根室振興局、教育局との包括連携協定により多文化共生、DX、産業振興、情報教育、防災などの学校行事を実施することができた

(5) 学生支援

委員の評価

**B**

評価項目
・進路指導（就職・進学）に関する支援体制は整備されているか
・生活指導担当者を適切に配置し、学生及び教職員に周知しているか
・進学、就職に係る資料を学生が閲覧できる環境を整えているか
・留学生生活に関するオリエンテーションを入学直後に実施しているか
・日本社会（文化）を理解し、適応するための取組みを行っているか
・学生定期面談を計画・実施しているか
・学生が適宜相談に来られる体制を整えているか
・欠席が多い、学習態度不良の学生に対し早期のフォローがなされているか、その仕組みがあるか
・気象警報発令時の措置を定め、教職員及び学生に周知しているか
・休日及び長期休暇中、災害など緊急時に学生と連絡を取る手段があり、対応が可能か
・退学率の低減が図られているか
・学生の生活状況を定期的に把握し、相談にのる等の支援をしているか
・健康診断を定期的に実施しているか
・避難訓練を定期的に実施しているか
・防災用品が備蓄されているか
・学生寮の設置、不動産会社紹介などの生活環境支援体制を整備しているか
・保護者（留学生は送り出し機関や母校）と適切に連携しているか、その体制があるか
・卒業生への支援体制があるか
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか

①課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害を想定した避難訓練を定期的に行い災害時対応の見直し</li> <li>・生活費負担増や授業料高騰、奨学金返済問題への支援体制の強化</li> </ul>
--

②今後の改善方策

<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時対応の見直しと共に、定期的に確認・周知をおこなう</li> <li>・返済不要の給付型奨学金拡充検討</li> </ul>
--

③特記事項

<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生との定期面談を実施している</li> <li>・出席不良学生の情報共有、チームとして対応する体制ができている</li> <li>・地域企業との連携による学費減免制度拡充を検討中</li> </ul>
---

(6) 教育環境

評価項目	委員の評価
<p>(6) 教育環境</p> <p>評価項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校地・校舎面積は、専修学校設置基準に適合しているか</li> <li>・教育上の必要に十分対応した施設・設備、教具、備品等を整備しているか</li> <li>・教室内は十分な照度があり、換気がなされているか</li> <li>・視聴覚教材を使用可能な設備があるか</li> <li>・学外での実習、インターンシップ等の実施体制を整備しているか</li> </ul>	A

- ・防災に対する体制を整備し、組織として対応が可能な状態か
- ・学内施設・設備の点検を定期的に行い、安全の確保に努めているか

①課題

- ・デジタル格差の顕在化 ICT機器格差 オンライン授業適応困難 オンライン授業適応困難 情報リテラシー不足
- ・防災に対する体制の整備

②今後の改善方策

- ・デジタルチューター制度（上級生による指導）多言語対応アプリでの情報提供
- ・防災体制の強化
- ・規程に沿った備品管理の徹底。保管書類の年度更新の徹底
- ・メタバース空間での災害訓練シミュレーション

③特記事項

--

(7) 学生の受け入れ募集

	委員の評価	<b>A</b>
--	-------	----------

評価項目
・接続する教育機関（高等学校、日本語学校、送り出し機関等）に対し適切な情報提供をしているか
・入学志願者に対して情報提供や入学相談を行っているか
・学校見学対応を適切に行っているか
・募集定員を定めているか
・入学選考料、入学金、授業料、その他納付金の金額及び納付時期、学費以外に必要な費用を明示しているか
・教育内容、授業料等の正確な学校情報をインターネット上で開示しているか
・入学選考基準を明確に定め、適切に運用しているか
・募集にあたり第三者に仲介手数料を支払っている場合、その額は授業料と比較して相当程度高額でないと言えるか
・入学選考結果を入学後の学生指導、授業改善等に活用しているか
・進路実現実績、学生満足度に対し、学納金は妥当なものとなっているか

①課題

- ・地元学生の志望情報の不足
- ・広報チャンネルの幅を広げること

②今後の改善方策

- ・ARキャンパスマップ（スマホで施設バーチャル体験）の拡充
- ・広報における新たなメディアの活用検討
- ・卒業生が出た後には、満足される実績をしっかりと作っていく

③特記事項

- ・進路先ではなくても地域の方が足を運ぶコミュニティとして利用頂けるようなイベント等実施していく

(8) 財務

	委員の評価	<b>B</b>
--	-------	----------

評価項目
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
・単年度予算、中期計画を策定しているか？
・予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれているか
・予算及び計画に基づき、適正に執行・管理しているか
・適正な会計監査が実施されているか
・財務情報公開の体制整備はできているか

①課題

・少子化が進む中で、中長期的にも安定的に学生募集を継続する新たな方策
・予算管理の効率化

②今後の改善方策

・幅広い国や地域からの学生募集の強化（海外募集）
・学生から選ばれる学校として継続していけるよう、教育の質の維持また向上の検討
・DX化

③特記事項

・公認会計士事務所による監査を受けている
・財務情報の公開可能な体制を整えている
・予算計画に基づく、予算執行が適切に行われている

(9) 法令等の遵守

委員の評価

A

評価項目
・法令、専修学校設置基準等の遵守し、適正な学校運営を行っているか
・個人情報保護のための対策を実施しているか
・出入国在留管理庁ほか関係官庁等への提出、報告を遅滞なく行っているか
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
・自己評価結果を公開しているか
・学校関係者評価の委員会を組織し、評価を行っているか
・学校関係者評価を公表しているか
・学校ホームページに「情報公開」を適切に掲載しているか
・入管法上の留意点について学生へ伝達、指導等を定期的に行っているか
・アルバイト先、稼働状況を把握し、法令順守の指導を行っているか
・在留に関する学生の最新情報を把握しているか
・在留上、問題のある学生への個別指導を行っているか
・教職員のコンプライアンス意識を高めるための取組みを行っているか

①課題

・SNS炎上（デジタルフォレンジック専門チーム編成）
・留学生ビザ違反（在留資格管理）
・法令に関する最新情報への教員の意識の向上

②今後の改善方策

- ・部内研修等による在留資格や関連法令への理解の充実
- ・法令に関する情報の定期的な発信・共有、最新情報の発信・共有（学生・教職員共に）

③特記事項

- ・当学園の全体研修において個人情報や肖像権に関する研修を実施している

(10) 社会貢献・地域貢献	委員の評価	A
評価項目		
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか		
・学生のボランティア活動を奨励し、活動への参加を支援しているか		
・地域交流や地域活動を実施しているか		
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか		

①課題

- ・STEAM教育実践（地域課題を教材化）
- ・仮想インターンシップ（メタバース空間での職業体験）

②今後の改善方策

- ・仮想インターンシップ（メタバース空間での職業体験）等への参加

③特記事項

- ・地域貢献事業として根室管内をメインに、情報教育促進のため講演会、研修会、相談会などを無償で実施した（実績：15事業）

(11) 国際交流	委員の評価	A
評価項目		
・留学生の受入れを戦略的、組織的に行っているか		
・留学生の受入れ、在籍管理を適正に行っているか		
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか		
・学習成果が国内外で評価される取組みを行っているか		
・留学生在籍部門に関し、出入国在留管理局から「適正校」の認定を受けているか		

①課題

- ・日本人学生との授業に支障がないよう、授業に工夫が必要になる
- ・日本人との交流の場の提供

②今後の改善方策

- ・場合によっては同時通訳アプリを利用することで、誤解等が生じないように心掛ける

③特記事項

・根室振興局、教育局との包括連携協定により多文化共生の推進事業「企業・団体・学生（留学生・日本人）のワークショップ」を実施した

※ 各評価項目における評価点（「適切：4」、「ほぼ適切：3」、「やや不適切：2」、「不適切：1」）

その平均値（小数第二位を四捨五入し、小数第一位まで表示）を以下の基準により表示した

評価	基準
A	4.0 ～ 3.5
B	3.5未満 ～ 3.0
C	3.0未満 ～ 2.5
D	2.5未満

評価者：岩谷学園ひがし北海道IT専門学校教職員

---

（評価期間：2024年4月1日～2025年3月31日）